

科目名	地域経済政策論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修	■選択
			学科	□必修	□選択
英文表記	Regional Policy of Economy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□対面のみ □遠隔のみ ■対面・遠隔併用		
授業のテーマ	ローカルアベノミクスと地方経済の生産性				
到達目標	地域経済の現状と課題の整理と課題の解決策を自ら考える				
授業概要	秋田が抱える課題を考察するとともにアベノミクスの地方創生法に活路を見出す				
授業計画					
第1回	戦後日本経済と地方経済～東京と地方との経済格差是正とアベノミクス				
第2回	転換期を迎える秋田の産業政策～洋上風力発電と都市鉱山が秋田経済再生の起爆剤となりうるか				
第3回	情報通信産業振興政策と地域経済～日本の中堅中小企業のDX化と日本経済の成長エンジン				
第4回	地方産業インフラ整備と地域経済～限本のTSCMと千歳のラピダス ハブ空港と水				
第5回	地方産業インフラ整備と地域経済～脱炭素革命への認識・地方経済の質が問われる				
第6回	地方経済が一気にグローバル化する可能性～対日投資拡大の意味するもの				
第7回	地方創生と産業クラスター論～グローバルサプライチェーンの再構築				
第8回	進展する第4次産業革命・コネクテッドインダストリーと秋田の対応				
第9回	サーキュラーエコノミー・グリーンリカバリーを推進する能力が問われる秋田経済				
第10回	IWON構想と秋田の産業戦略5Gで都市はどう変わるのか 20代に任せてみたら！				
第11回	スモール経済～限界集落からの脱却と古民家空き家ビジネス				
第12回	地方金融が変わる～SDGSとESG金融				
第13回	地域成長支援ファンドとハンズオン投資そしてICO～広がる地方の選択と成長可能性				
第14回	AIとGXによる地域経済の変革～地方が抱える課題を解決する可能性				
第15回	デジタル田園都市国家構想による地域の改革は可能なのか？				
第16回	期末試験				
授業時間外の学習	予習復習の徹底、ポータルサイトに目を通しておくこと				
履修条件 受講のルール	地域に関心を有していること				
テキスト	レジュメをポータルサイトにアップダウンロードして授業に使用 PC必携				
参考文献・資料	追って連絡します				
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				
実務経験及び実務を活かした授業内容	日本政策投資銀行とのネットワークを活かした最新の情報を提供する。				
学生へのメッセージ	SDGsを理解すれば、新たな地域経済活性化の可能性が見えてきます。				